

腸チフス患者の発生について

福岡市保健所管内において腸チフス患者の発生届出がありましたのでお知らせします（入院事例）。

1 概要

- 7月23日（水） 福岡市在住の10歳未満女兒に下痢が出現。
- 8月 7日（木） 発熱が出現。
- 8月11日（月） 症状が持続していたため、医療機関Aを受診。医療機関Aの紹介で医療機関Bを受診し、入院。
- 8月13日（水） 医療機関Bによる検査の結果、チフス菌が検出され、腸チフスと判明。
医療機関Bが福岡市保健所に腸チフス発生届を提出。
福岡市保健所が患者等の健康調査、感染拡大防止の指導等を実施。

2 患者の状況

入院治療中だが、快方に向かっている。

3 行政対応

患者の健康調査、接触者調査及び感染拡大防止の指導を実施。

4 原因

調査中（東南アジア滞在歴有）

※腸チフス患者・感染者の福岡市への届出状況(令和7年8月14日現時点)

年	27年	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
件数	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2

※本件を含む。

【特記事項】

患者及び家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から、提供資料の範囲内での報道をお願いします。
本件に関するお問合せは、開庁時間内をお願いします。

腸チフスについて

(1)定義

チフス菌の感染による全身性感染症です。

(2)臨床的特徴

潜伏期間は3～60日と幅がありますが、典型的には7～14日です。

発熱・頭痛・食欲不振、全身倦怠感などの症状を呈します。

細菌に汚染された水・食物、患者の便・尿などから経口的に感染します。

※腸チフスは、世界中でみられる感染症ですが、特に南アジア、東南アジアでの罹患率は高く、また、中南米、アフリカなどでもみられます。これらの地域では、生もの、生水、氷などを飲食しないよう注意してください。

※感染症の予防には手洗いの励行が大切です。

帰宅時、食事前、トイレの後などは、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。